

京都大学人文科学研究所 退職記念講演会

# 三酔人 人文問答

第一部 「効用と無用のあいだ」

大浦康介 「おしゃべり」の効用」

富谷 至 「辞書作成の効用―語義を求めて」

山室信一 「へ転がる石」の効用―三つの研究所を巡って」

第二部 「今こそ、人文学について語ろう」

鼎談 司会：武田時昌

2017年3月13日(月) 14時～17時 無料／予約不要

会場：京都大学時計台記念館 百周年記念ホール

主催：京都大学人文科学研究所

お問い合わせ：京都大学人文科学研究所総務掛

606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL：075-753-6902

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> E-mail: [z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp)



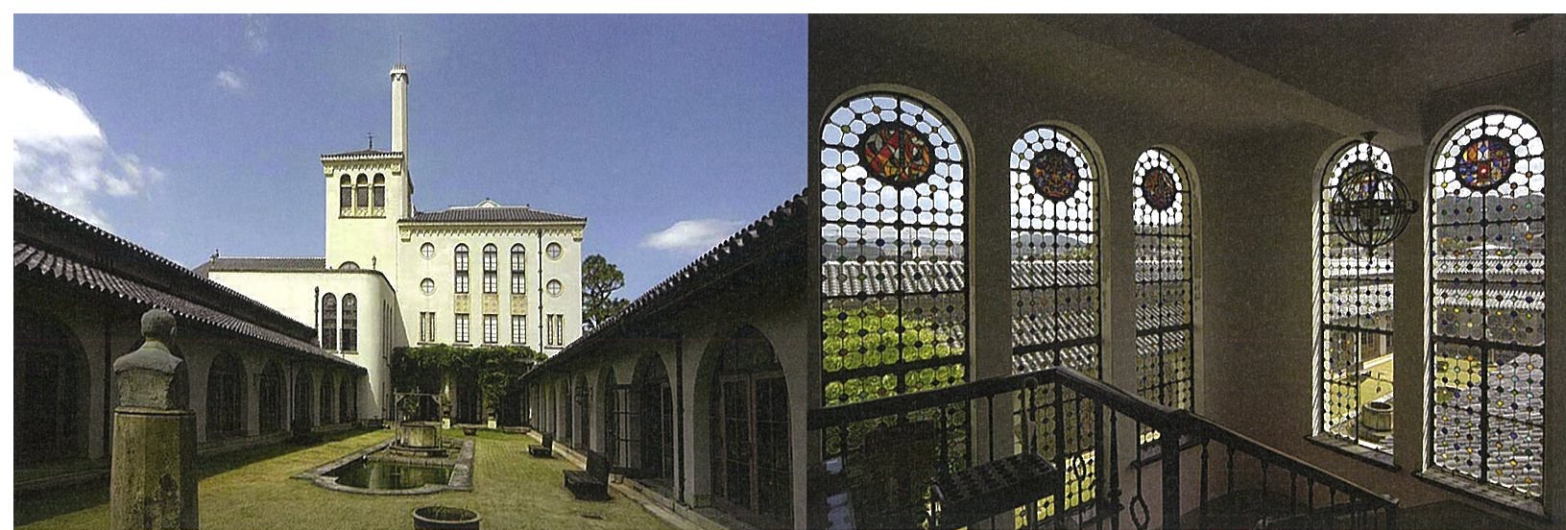
山室信一



富谷 至



大浦康介



## 大浦康介 (おおうら・やすすけ)

京都大学人文科学研究所教授

1951年生まれ。専門はフランス文学・文学理論。共同研究「記号・意味・文学」、「ポルノグラフィ研究」、「虚構と擬制」、「日本の文学理論・芸術理論」、「環世界の人文科学」を主宰。著書に『誘惑論・実践篇』(晃洋書房、2011年)、『対面的』(筑摩書房、2016年)、編著に『フィクション論への誘い』(世界思想社、2013年)、『アンソロジー：日本の文学理論』(水声社、近刊予定)など。



## 富谷至 (とみや・いたる)

京都大学人文科学研究所教授

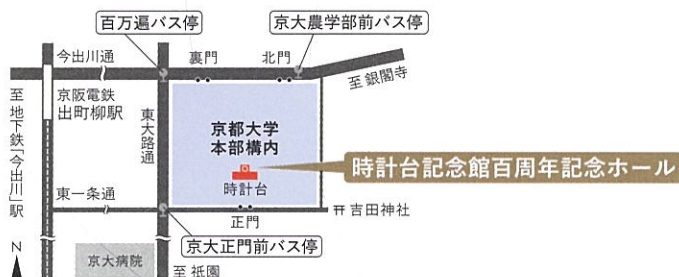
1952年生まれ。専門は中国法制史。共同研究「辺境出土木簡の研究」「漢簡語彙の研究」などを主宰。著書に『文書行政の漢帝国』(名古屋大学出版会、2010年)、『中国義士伝』(中公新書、2011年)、『木簡・竹簡の語る中国古代』(岩波書店、2014年)、『漢唐法制史研究』(創文社、2016年)、『中華帝国のジレンマ』(筑摩書房、2016年)など。



## 山室信一 (やまむろ・しんいち)

京都大学人文科学研究所教授

1951年生まれ。専門は近代法政思想史。共同研究「空間の再審」「第一次世界大戦の総合的研究」「現代／世界とは何か?」などを主宰。著書に『キメラ』(中公新書、1993年)、『思想課題としてのアジア』(岩波書店、2001年)、『憲法9条の思想水脈』(朝日選書、2007年)、『複合戦争と総力戦の断層』(人文書院、2011年)、『アジアの思想史脈』・『アジアびとの風姿』(共に、人文書院、近刊予定)など。



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分  
 ●市バス 31.65.201.206系統「京大正門前」下車徒歩4分／3系統「百万遍」下車徒歩7分  
 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

